

防災訓練を行いました



今月は、夜間の火災を想定して避難訓練を行いました。例年、地元自治会の方・海潮消防団の方にもご参加いただき、大規模に行っているこの訓練。今年は職員だけで行うにあたり、職員の少ない夜間帯での消火から避難・安否確認をいかに迅速に確実に実施するか、マニュアルの見直しも含め原点に立ち返っての訓練となりました。

火災だけでなく、水害・地震など自然災害が多発しています。災害は他人事ではなく、いつ起こってもよいように対策を講じてまいります。

感謝～除草ボランティア



更生保護女性会・大東班の皆様、海潮地区の有志の方々が園の周りの除草や草刈り作業のボランティアをしてくださいました！！

あんなに草があった場所がとてもきれいになりました！！

ありがとうございました！！

感謝～車椅子を寄贈いただきました



雲南市ご出身の須山篤志様から、2台の車いすを寄贈していただきました。近畿ふるさと会の会長をしておられ、地元地域へ貢献をしたいというお気持ちから、昨年度より福祉施設へ車いすのご寄贈を行っておられます。今年度は簞の上園にご寄贈いただきました。

ありがとうございました！！

～あとがき～インフルエンザの流行しやすい時期となりました。11月に入ると利用者の方の予防接種も始まります。職員も予防接種をしたり、引き続き感染予防に努めて参ります。オンラインでの面会や別室での面会来園などできる範囲でのご家族との交流を楽しんでいただいているところです。皆さまからのご意見もいただきながら、新しい生活様式で地域の皆さまとつながる施設を目指し努力してまいります。

社会福祉法人
島根県社会福祉事業団
特別養護老人ホーム 簞の上園
〒699-1253 雲南市大東町中湯石 88
TEL 0854-43-3125
FAX 0854-43-9107
HP <http://www.ssw.or.jp/house/hinokami>

簞の上園だより

令和2年
10月発行

簞の上園 実践理念

『私が 私でいられる 空間づくり』



【園長挨拶】

日頃から特別養護老人ホーム簞の上園の運営につきまして、ご利用者様をはじめ、ご家族・地域の皆様等から、温かいご支援とご協力を頂き心から御礼申し上げます。

零れるほどに花をつけ、しなやかにしだれ咲きする「萩の花」、風にまたたくようにひるがえす「すすき花」等々。海潮の道々や簞の上園の周囲の風景に、日々季節を感じる事ができ、日常の大切さを感じているところです。

さて、新型コロナウイルス感染症に始まった令和2年ですが、残すところ2か月あまりとなりました。コロナ禍においては、「日常」や「家族とのつながり」「絆」といった、私たちが今まで当たり前としていたことが、何より大切なことだと改めて気づかされました。また反対に、今まで是としていたこと、踏襲してきたことを変えていかねばならない場面も多くありましたが、そこからの創意工夫と前進もありました。コロナ後の社会の変容は少なからずあると思いますが、変えてはならない大事な事、変えていくことで産まれる価値をきちんと見極め進めていくことが大切と思っています。

今期、簞の上園では「第5期中期経営計画」を策定していきます。この機会に、実践理念である「私が私でいられる 空間づくり」について、職員一人ひとりが原点に立ち戻って考える場を設けました。今後更に話し合いを継続し、ご利用者様にとっての「私らしい暮らし」「我が家と思える居場所」とは何か、どうすればそれを実現できるのか具体的に、ご利用者様との関わりの様々な場面で実践していけるように方向づけていきたいと考えています。

ご家族様をはじめ、地域の皆様・ボランティアの皆様には園での活動に参加していただけない日々が続いておりますが、この間たくさんの方々から、お声をかけて頂き、古布の寄贈や除草のご協力を頂き、大変感謝いたしました。

今後とも、地域との繋がりを大切に、信頼される施設を目指していきたく思っておりますので、引き続き簞の上園に対するご支援、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策

～雲南保健所・簸の上園共同企画！に関する研修会を開催しました～

雲南圏域では5月から新型コロナウイルス感染症対策実務担当者連絡会をWeb上で開催し、新型コロナウイルスを正しく理解し、適切な感染予防策、感染拡大防止について学習・情報共有し、対策を重ねてきました。

第3回目の今回は、雲南保健所・簸の上園の共同企画で「入所・入居施設における感染予防の取り組み」として、施設での発症を想定し、感染区域とそうでない区域の区分け、「ゾーニング」について研修しました。県内の保健所、雲南市、奥出雲町の行政機関、雲南市立病院をはじめとする雲南地域の病院、開業医の先生方、介護保険関連事業所の実務担当者など、総勢約70名が参加してのWeb会議となりました。

施設での発症はないに越したことはありませんが、もしもの時に備え、今後も予防策の徹底と、発症時の速やかな対応について、関係機関と連携し、準備を重ねていきたいと思えます。

10月末には、保健所からも来園され、実際に園で発症した場合を想定して居室でのゾーニング・実際の介護についての訓練を予定しています。



そば会食



簸の上園恒例！！海潮の「きたそば」様の手打ち蕎麦をよばれました。「きたそば」の皆さんが、早朝から蕎麦打ちをして下さり、園に届けて下さいました。きたそば様の蕎麦は本当に香り高く美味しいのです。そして出し汁も絶品。昼食には食堂で、アツアツの「釜揚げ蕎麦」、キリっとしまった「割り子蕎麦」を提供し、堪能されました。

来年はコロナも終息していることを願い、例年のように朝から屋台を組み、民生児童委員の皆様にもお手伝いいただき、大きな釜で蕎麦を茹で、盛大な「蕎麦会食」ができるとよいです。



こんな時こそ「笑顔の力を」

10月晴天のある日、さんま・リンゴ・さつま芋を炭火で焼いて楽しみました。

モクモク煙があがり、リンゴの甘い香りやさんまの香ばしい香り。皆さんワクワクしながら焼き上がりを待ちました。

「外でこんなおいしい物食べるとは！思いがけず嬉しい」と話される方、箸で上手に身をほぐして召し上がる方、短い時間でしたが、秋の味覚を皆さん楽しんでいただくことができました。

神楽の里



和歌の里では2か月に1回抹茶の会を行っています。

本来であれば、毎月ボランティアの方に点てて頂いていたお抹茶です。今年はボランティアの方においでいただけないので、慣れない職員が点てています。

今月も、抹茶と一緒に季節の生菓子や甘みのあるお菓子を添え、召し上がっていただきました。和やかな雰囲気の中、ゆったりとした時間をお過ごしいただきました。

和歌の里



まだ暑い8月、屋台を組んでアイスクリームバイキングをしました。

種類やトッピング、個数も注文に合わせて。最初はバニラアイス注文する方が多かったですが、おかわりでは他の味に挑戦して「これも美味しいわ」と2個や3個食べる方もおられました。

螢の里



彼岸法要



圓明寺 森山住職様にお越しいただき、彼岸法要を執り行いました。例年であれば、地域交流スペースに皆さんで集い、法要を行いますが、今年はケア室（礼拝室）で園長以下4名の職員が代表で礼拝致しました。

ご利用者様には、順次交替で、ご焼香していただき、「南無阿彌陀仏」とお経を唱えられるご利用者様もいらっしゃいました。ご先祖様、簸の上園での物故者様を偲び、しばし手を合わせました。